

令和8年 第2回綾町議会(3月)

定例会

一般質問通告書

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 日高</p> <p>1. 令和8年度所信、並びに施策方針について</p>	<p>(1) 町外からの来訪者の言葉により、本町のイメージカラー（アイデンティティ）を改めて認識させられます。このカラーを先人から受け継ぎつつ、時代の変化に即した対応が求められる中、町長の決断は極めて重要です。令和8年度の施策に臨む町長の所信を伺う。</p> <p>(2) 綾町役場庁舎の建て替えに向けた方針を伺う。また、体育館や武道館といった公共施設の老朽化が進行しているが、これらを含めた全町的な公共施設再編や長期ビジョン（管理計画など）の進捗管理等が必要ではないか、町の考えを伺う。</p> <p>(3) 国スポ大会終了後における各競技施設の具体的な利活用計画と、大会の遺産（レガシー）をどう活かすかという将来ビジョンを伺う。あわせて、『スポーツランド綾町』としての今後の推進方針について町長の考えを伺う。</p>

(4) 庁舎の建て替えや既存施設の再編を見据えた際、中心市街地の活性化は不可欠である。長期計画におけるまちなか地区の課題などをどのように盛り込み、具現化していく考えか伺う。

(5) 地元選出代議士が5名となったことは、地方の声を国へ届ける大きな好機であると考えます。この新体制に対する町長の認識と、これを機に本町の「地方創生」を加速させるための働きかけについて、町長の考えを伺う。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 橋本</p> <p>1. 第10期介護保険事業計画（保険料水準と介護提供体制の確保）について</p>	<p>(1) 第9期事業は令和8年度まで。10期事業に向けた検討が始まっていると思う。高齢者の生活への不安を少なくするため、以下のことについて伺う。</p> <p>①保険料について</p> <p>②サービスの確保について</p> <p>③事業所の確保について</p> <p>④介護労働者の確保について</p> <p>⑤利用者負担について</p>

- | | |
|------------------------------------|---|
| <p>2. オンデマンド交通（今年度どう変わるのか）について</p> | <p>(1) 約1年に及ぶ実証実験の結果報告を求める。</p> <p>(2) 新年度は何がどう変わるのか伺う。</p> <p>(3) 町外までの移動にも対応するには、どのような条件整備が必要か伺う。</p> |
| <p>3. 住宅リフォームについて</p> | <p>(1) 町長が新年度から取り組む意向を示されていた「耐震改修への補助事業」の制度化の実施はあるのか。ぜひ白アリ駆除対策と一体化して進めてほしい、町長の考えを伺う。</p> |

4. 情報格差による住民の疎外感について

(1) 行政情報の提供がホームページへ移行する中、ネット環境を持たない高齢者等から「置き去りにされている感じがする」という切実な声が寄せられている。

① 行政無線や役場窓口での「詳細は綾町ホームページで」という放送が、利用不可能な住民に疎外感や不安・不満感を与えている現状をどう認識されているのか伺う。

② 情報を伝える手段をどう強化し、情報を得難い人々をどうフォローしていくのか具体的方針を伺う。

③ 「だれ一人取り残さない」全ての住民に届く情報伝達手段の具体的計画を伺う。

5. てるは図書館の運営変更や役場窓口の時間変更について

(1) 25年度から開館時間等の変更があった。利用者から夜間開館日を設けてほしい。休館は週一回にしてほしいとの声がある。住民の学びの機会を狭めているともいえる。また住民の居場所や学習の拠点としての役割も損なわれているのではないか。見解と解決策を伺う。

(2) 5月1日から役場窓口受付時間が変更になることについて、行政サービスの後退との意見がある。

①改めて時間短縮に至った経緯と住民の声（苦情や意見）をどう把握されているのか伺う。

②短縮による効果（人件費光熱費など）はいくらになるのか伺う。

③利用が制限される住民のために、週一回夜間の開庁など時間外に対応できる仕組みを作るべきではないのか考えを伺う。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 山田</p> <p>1. 令和8年度当初予算について</p>	<p>(1) 令和8年度当初予算は、町長が掲げる重点施策のうち、特に力を入れた施策と、その理由は何か伺う。</p> <p>(2) 財政の持続可能性について、令和8年度予算編成後の実質公債費比率・将来負担比率の見通しを伺う。また、これらの数値は町長が目指す健全財政の基準内にあるのか伺う。</p> <p>(3) 今後5年程度を見据えた中長期的な財政推計について、収支の見通しを具体的な数値で伺うとともに、財政が逼迫した場合の具体的な対策と実施時期を伺う。</p> <p>(4) これまで実施してきた移住・定住支援事業の中で、投資対効果が最も高いと認識している事業を伺う。また、令和8年度当初予算において、それらの成功事例をどのように強化・拡充していくのか、町の見解を伺う。</p>

- (5) 事務事業評価の結果を踏まえ、効果が薄い事業の見直しや廃止をどのように行ったか。具体的な対象事業と、それにより削減された予算規模について伺う。
- (6) 有機農業を次世代につなぐため、担い手確保・所得向上に向けた具体的な事業計画と予算の実効性を伺う。また、いつまでに目に見える成果（所得増など）を出せる考えか伺う。
- (7) 現行の新規就農者に対する支援策が就農初期の所得不安定や物価高騰といった現場の実態に即したものとなっているか。また、担い手確保のため、支援内容の拡充や制度の見直すのであれば、いつから行う考えか伺う。
- (8) 令和7年度の事業実績と課題をどう分析し、令和8年度予算で「継続・拡充・縮小」について判断した具体的な基準と項目は何か伺う。

(9) 観光客数や消費額増加につながる具体的な数値目標は設定しているのか伺う。

(10) 行政運営にあたり、職員数の推移と業務量増加の現状をどう分析しているか伺う。また、限界を迎える前にいつ、どのような体制改善（増員やDX等）を講じる考えか伺う。

(11) DX 推進や業務見直しに関する予算について、具体的な業務削減目標や住民の利便性向上につながる数値目標を設定しているか伺う。また、形骸化させないための実効性をどう担保するのか伺う。

2. 選挙の投票率向上に向けた取り組みについて

(1) 先日行われた衆議院選挙の投票率と、近年の選挙の投票率の推移について、町長は町政を担う立場としてどのように受け止めているか伺う。

(2) 若年層や子育て世代の投票率向上は不可欠である。町として、主権者意識の醸成に向けた課題をどう認識しているか伺う。

(3) 若者をはじめとする、町民全体の政治への関心を高めるため町長と語り合う場など、政治を身近に感じるための町独自の施策を展開する考えはあるか伺う。

(4) 町公式 SNS の活用や、プッシュ型通知による投票の勧奨など、町の広報戦略としての考えを伺う。

3. マイナンバーカード更新手続きにおける不具合と町民対応について

- (1) 本町におけるマイナンバーカード及び電子証明書の更新手続きに関し、これまでに町民から寄せられている主な問い合わせや苦情の内容はどのようなものがあるのか伺う。
- (2) 更新期限切れにより、行政サービスやマイナ保険証等の利用に支障が生じた事例は本町で把握しているのか伺う。
- (3) 現在行っている更新案内や周知方法について、その内容と課題をどのように認識しているのか伺う。
- (4) 高齢者や障がいのある方、デジタル機器の操作が困難な町民に対する更新手続き支援について、現状の取り組みと今後の改善策を伺う。
- (5) 今後、町民が安心してマイナンバーカードを利用・更新できるよう、町として国や県に対し改善要望を行う考えはあるのか伺う。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 中神</p> <p>1. これまでの町政運営の総括と最終年度の指針について</p>	<p>(1)綾町の原点に立ち返り、綾らしさの強化と進化を図ることで、未来につながるまちづくりと人づくりを実現する。と、強い気持ちで3つの柱のもと13もの取り組みを掲げ就任されました。残り1年の任期となりましたが、次年度に向けた取り組みについて以下を伺う。</p> <p>①町民所得向上と負担軽減</p> <p>ア. 物価高騰が続く中、町独自の給付金、補助金、商品券等の予算計画はないのか伺う。</p> <p>イ. 子育て、教育費、所得制限のない無償化など次世代への負担軽減に向けた町独自の新たな支援策や、今後の実施計画について伺う。</p> <p>②農業振興政策</p> <p>ア. 産地パワーアップ事業などの補助金を用いてのハウス建て替えは検討できないか伺う。</p> <p>イ. オーガニックスクール本年度卒業生の圃場支援はできているのか現状を伺う。また、令和8年度予算においてどのような継続的支援策を講じているのか伺う。</p>

ウ. 政府が物価高対策として検討している「食料品消費税の時限的な0%化」について、家計支援には繋がるものの、農家経営を圧迫する肥料・飼料等については現状維持である。有機農業の町として、生産現場を守る立場から、生産資材への課税軽減等を政府へ強く働きかける考えはあるか伺う。

③国スポ後を見据えた施設活用

ア. 大会後の各競技団体やチームの合宿誘致に向けた具体的な戦略、準備計画と状況を伺う。

イ. 各施設の老朽化対策や維持管理が課題となる中、自主財源の確保策として、各施設への「命名権（ネーミングライツ）」導入を検討すべきと考えるが、町の考えを伺う。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 興梶</p> <p>1. 綾川荘の設立目的と現状運営の整合性及び今後のあり方について</p>	<p>(1)綾川荘は町民の福祉増進を目的に設立されたが、近年町民との距離が生じているとの指摘がある。以下の点を町の認識と方針として伺う。</p> <p>①設立目的と現状運営の整合性、利用実態の把握状況について</p> <p>②指定管理者による運営において、条例趣旨が最優先されているかについて</p> <p>③設立当初から現在までの運営方針の変遷について</p> <p>④利用状況・財政状況の推移と経営上のボトルネックについて（資料配布請求）</p> <p>⑤町民利用促進と福祉増進機能強化のための具体的方策について</p>

2. 国スポ・障スポの運営、人員不足解消と有事の安全確保策について

(1) 令和9年開催予定の国スポ・障スポについて、人員配置と災害対策が喫緊の課題。令和6年6月定例会での一般質問からの進捗状況を伺う。

①運営事務の効率化について

ア. コンサル等への業務委託検討状況と「綾モデル」の具体化について

イ. 県・国への予算要望活動の実施状況と見通しについて

②防災・危機管理体制について

ア. 大規模災害発生時の対応・避難シミュレーション策定状況について

イ. 県・共同開催地・近隣自治体との連携体制構築状況について

- | | |
|--|--|
| <p>3. オンデマンド交通検証実験に伴うタクシー事業への影響と町の対応について</p> | <p>(1) 令和7年4月開始のオンデマンド交通実験により、タクシー事業への影響が懸念される。町として以下の点についての見解を伺う。</p> <p>① タクシー券減額配布の影響とタクシー事業者の経営状況把握について</p> <p>② オンデマンド交通とタクシー事業の共存に向けた検証・モニタリング計画について</p> <p>③ タクシー撤退リスクの認識と代替交通手段の検討状況について</p> |
| <p>4. 選挙管理事務の適正化と選挙への信頼確保について</p> | <p>(1) 全国で選挙事務ミスが相次ぐ中、来年度統一地方選を控え、信頼確保が必要。以下の点について町の見解および今後の取り組みを伺う。</p> <p>① 今次衆院選での事務執行状況と全国事例の把握・分析について</p> <p>② ミス・不正防止の具体的改善策と職員研修・マニュアル見直し予定について</p> |

③選挙事務の透明性向上と広報・啓発活動の検討状況について

5. 「森林保護」と「工芸」の両輪による町づくりの歴史的意義とユネスコエコパークの理念具現化について

(1) 森林保護と手づくり工芸が本町の町づくりにおいて強く結びつく必然性と今日的意義について、改めて町長の見解を伺う。

①「照葉樹林都市・綾」理念における照葉樹林保護と工芸振興の位置づけの認識と継承について

②森林保護と工芸の「有機的結合」による「互恵的共生」を推進する必然性について

③ユネスコエコパークとしての取り組みへの活かし方と国際的発信の方向性について

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 海江田</p> <p>1. マイナンバーカードについて</p> <p>2. 綾町バイオガспラント建設について</p>	<p>(1)現在の綾町における正確なマイナンバーカード取得率とその年代別の傾向について伺う。((資料配布請求)</p> <p>(2)これまで取得率向上のために実施してきた具体的な取り組みと、その成果について伺う。</p> <p>(3)今後、取得率のさらなる向上とあわせて、マイナンバーカードを活用した行政サービスの利便性向上を、どのように進めていく考えなのか、町長の見解を伺う。</p> <p>(1)建設までの今後のスケジュールについて、また、建設候補地は、現時点でどこを考えているか伺う。</p>

(2) 事業の目的と位置づけについて伺う。

① バイオガスプラント建設を進める目的について

② 環境対策、循環社会の構築、農業振興など、どのような施策目標を達成するためのものか。

③ また、町の総合計画や環境施策の中で、どのように位置づけられているのか。

(3) 原料となる資源の確保について伺う。

① バイオガスプラントの安定稼働には、家畜排せつ物や食品残さなど、継続的な確保が不可欠である。綾町において、原料の確保は十分に見込まれているのか。

② 町内農家や事業者との連携体制は、どのような構築がされているのか。

(4) 建設費と運営費の財政負担について伺う。

①建設費及び年間の運営費などの国や県の補助金の活用状況、町の実質的な財政負担額についてお示しください。

②将来的に町の財政を圧迫する可能性はないのか、見解を伺う。

(5) 環境面・生活環境への影響について伺う。

①バイオガスプラント建設にあたり、悪臭、騒音、交通量の増加など、周辺住民の生活環境への影響が懸念される。

ア. これらの課題に対し、どのような対策を講じていく予定か。

イ. 環境影響評価や事前調査など行う予定があるか。

(6) 住民理解と合意形成について伺う。

- ① 本事業は、町民生活に直接関わる大きな事業である。今後、さらなる情報公開と住民説明会を行う考えがあるのか。

(7) 事業の将来性とリスク管理について伺う。

- ① 設備の老朽化や原料不足、採算性の悪化など、将来的なリスクへの備えは、どのように考えていくのか。

- ② 想定どおりに運営できなかった場合の対応策について

- ③ 住民説明会の開催予定はあるのか。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 上野</p> <p>1. 新年度予算について</p> <p>2. 国スポに関することについて</p>	<p>(1) 今回の予算では、国スポに向けた準備のために、かなり絞ったものとなっているように聞く。例年と比較して、予算を減らされたものにはどういったものがあるのか。減った率の高いものからいくつか上げていただき、その理由も伺う。</p> <p>(1) 令和7年度の支出のうち、国スポ関連は総額どれくらいの金額となったのか。国県の負担金、地方債、町負担分などについて伺う。また、地方債の年あたりの負担は、どれくらい増額することとなったのか伺う。</p> <p>(2) 令和8年度の予算についても、(1)と同様のことについて伺う。</p> <p>(3) 運営面について。各競技の運営スタッフのうち、コアとなるスタッフは役場職員になるかと思う。どの程度の人数配置を予定しているのか伺う。</p>

	<p>(4) ボランティアの募集もされるとのことであったが、平日の複数日となるため、募集も難しいと思われるが、具体的な募集に関する計画を伺う。</p>
<p>3. 豚熱の対策について</p>	<p>(1) 2月6日（金）の新聞で須木の山で捕獲されたイノシシから豚熱のウイルスが検出されたとの報道があった。これを受けて、小林市では緊急の経口ワクチン散布がされるなどの対策が行われた。綾町ではどのような対策が行われたのか伺う。</p>
<p>4. 遊歩道の整備について</p>	<p>(1) 照葉大吊橋対岸の遊歩道は、大雨や台風などで大きな被害を受けている状況だと聞く。現在、通行止めとはなっていないものの、散策するにはなかなか困難な状況である。今後この遊歩道をどのように整備や活用をしていこうと町では考えているのか伺う。</p>

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 外山</p> <p>1. オンデマンド実証実験について</p> <p>2. 地域おこし協力隊における公金支出の不透明性と管理責任について</p>	<p>(1)この1年間で得られた利用実験や住民の評価、浮き彫りになった課題を町としてどう総括し、それを4月からの運行体制にどう反映させるのか。具体的な方針をまとめ、また、町民の利便性向上にどのような成果があったのか伺う。</p> <p>(2)1年の検証結果に基づき、新年度の予算はどのような根拠で算出されたのか伺う。</p> <p>(3)事業の継続性と費用対効果の視点からの町の見解を伺う。</p> <p>(1)エコパーク隊員は11月から報告書未提出（町側が報告書提出を言ってない。という実態。）「個別の活動記録」がない状態で、どうやって活動実態を確認し、公金を支弁しているのか・事務の手続き上の法的根拠を伺いたい。また、各課の個人の報告書のファイルも見せていただきたい。</p>

(2) 勤務実態と報酬設定の著しい不公正について

【エコパーク隊員】

週5日、9時～17時勤務で月18万～19万

【農業スクール生】

週6日、8時～17時勤務で月23万

【地元プロサッカーチーム】

試合・練習日以外の日、月20万

という報酬体系を町長はどのように考えているのか。また、各課での管理基準もバラバラである。地域おこし協力隊への公金執行の透明性確保、基準統一の観点から町の考えを伺う。

(3) 特定の民間団体への便宜とも受け取られかねない取り計らいと公金執行の適正性について。

①町は地元プロサッカーチームのホーム戦に際し、無料の送迎バスを競技場まで運行しているとの町民の声がある。

ア．地域おこし協力隊の予算や町費を投じて特定のプロスポーツチームの応援バスを無料で運行することは、公費の使途として公平性を欠くのではないかと町民の声があるが、見解を伺う。

イ．選手が地域おこし協力隊として委嘱されていることを理由に、チームの運営支援が町政の優先事項となっていないか。町民全体の利益に資する活動内容となっているのか、改めてその費用対効果を伺う。

3. 綾小学校における国語・算数ドリルの活用と修了基準について
- (1) ドリル学習の指導方針と実態について。綾小学校では国語および算数のドリルをどのような目的で、どのように活用されていますか。また、年度末においてドリルが最後で終わっていない児童の割合やその際の対応（補習や家庭学習への振り替えなど）について、現状を把握されているか伺う。
- (2) 学年修了の判断と未完了部分の取り扱いについて。
「ドリルが全部書き終えてなくても学年を修了（進級）できる」という現状について、教育委員会の見解を伺う。また、未完了のまま進級することは、次学年での学習の遅れや「積み残し」に繋がる懸念がありますが、修了時の習熟確認はどのように行われているのか伺う。
- (3) 宮崎市内の学校はドリルの完遂を必須としているケースがあると聞き及んでいます。綾町の児童が市内の児童と比較して、学習量や定着度で差が生じないよう、町としてどのような指導の標準化や質の担保を図っているのか。今後の改善策を含めて伺う。

4. 子ども議会における「町内ゴミ拾い」の実現化について

(1) 提言に対する具体的な事業化の有無と時期について

- ① 子ども議会で提案されたゴミ拾いのアイデアに対し、町として具体的に事業化する計画はあるか伺う。また、計画がある場合、いつ頃から実施する予定なのか。令和8年度予算への反応を含めたスケジュールを伺う。

(2) 具体的な実施方法と支援体制について

子どもたちが身近ですぐに行動に移せるためには、1～2回の一斉清掃だけでなく、日常的な支援が必要です。例えば、指定ゴミ袋の無償提供・回収拠点の整備・活動を可視化するポイント制度やSNS活用など、どのようなやり方で支援していく考えか伺う。

(3) 学校や地域との連携について

- ① 子どもたちの活動を、学校教育や地域コミュニティ（自治会等）とどのように連動させ、町全体のムーブメントにしていく計画があるか、町長の考えを伺う。